

令和5年度 第2回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月12日（水） 9時00分から11時00分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 各教室 及び 会議室
- 3 出席委員 安間 謙治、市川 光自、伊代田 尚志（CSコーディネーター兼任）、
小粥 裕里、小出 英徳、嶋野 直輝、高橋 由佳子、塚本 昌代、中村 勝信
CSコーディネーター 村上 久美子
オブザーバー 伊佐見協働センター
教育委員会 牧野 知子
- 4 欠席委員 池野 浩司
- 5 学 校 芦田 康宏（校長）、米山 由紀子（教頭）、長尾 夏未（教務主任）、
澤木 美加（CS担当教諭）、間瀬 仁美（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 協議事項

- (1) 《1学期の様子と2学期に向けて》 ～学校評価アンケートをもとに～
- (2) 未来を生きる伊佐見の子につけさせたい力について
- (3) ボランティアの活動について
- (4) バス（遠鉄バス・伊佐見線）の利用促進について

- 8 会議録作成者 CSディレクター 間瀬 仁美

- 9 会議記録

会議に先立ち、校内を回り、授業参観を行った。

議長は事前に決定していたとおり、高橋委員が務めることを確認した。

- (1) 《1学期の様子と2学期に向けて》 ～学校評価アンケートをもとに～

長尾教務主任より、別紙資料に基づき学校評価アンケートの結果について説明があった。委員からは以下の発言があった。

・教職員のアンケート結果の「学習の基礎・基本が定着している」の低評価と「子供の興味や意欲を高めるように授業を工夫している」の高評価が矛盾しているのではないか。また、読書離れがすすんでいるが、読むことは学習の基礎だと思う。（小粥委員）

- (2) 未来を生きる伊佐見の子につけさせたい力について

(1) のアンケート結果を踏まえ、各委員に意見を求めた。

・伊佐見小の子供たちはのびのびと育っていて感動する。学校は安心・安全・信頼・先生が好きといったことが大切。個々の不満はあるだろうが、全体を見るとすばらしい。（市川委員）

・地域の結びつきや家族関係も従来と変わってきている。相手との距離感を認識し、距離感を縮める力を付けさせたい。また、自分の名前の漢字、自分の住所が書けない子がいる。（中村委員）

・自分自身は「〇〇らしさ（男/女・大人/子供）」という価値観で育ったが、子供たちには偏

見のない柔軟な心を持って欲しい。(小粥委員)

・心身共に強く育てて欲しい。いじめは、(いじめの方が悪いことは大前提だが) いじめられる方も自分を守る力をつけて欲しい。また、家ではゲームをすることが多く、読書離れの原因にもなっているが、学校にいるときは本を読んだり体を使って遊んで欲しい。(塚本委員)

・アンケートは、その結果を活かした指導をしなければ意味がないと思うが、項目を見ると、学校がいろいろと考え、学習面だけでなく道徳面も指導してくれていると感じる。(小出委員)

・コミュニケーション能力を身につけさせたい。コミュニケーションをとろうとして嫌な思いをすることもあるが、経験しなければ分からない。嫌な思いをしたときに家族の力が大切。(村上コーディネーター)

・あきらめないでいろいろなことにチャレンジして欲しい。また、最近の子は体を動かすことが下手だと感じるので、できるだけ運動して欲しい。(伊代田委員)

・アンケート結果を公開し、家庭でも課題を意識した方が良い。また(P T A会長の立場から)、P T Aは任意加入だが、伊佐見小は100%加入してくれており、保護者の理解が良い。コロナ禍で地域の結びつきが薄れているが、地元を愛する心を育てたい。(嶋野委員)

・倒れない心を身につけさせたい。いじめが無くならない以上、限度範囲内なら鍛えることも必要。また、学校の教育方針が大きく変わり、記憶力ではなく応用力が重要。(安間委員)

・地元伊佐見に誇りを持ち、愛して欲しい。小さいときから参加できるイベント等を通して、地域の人達とふれあう機会を設けたい。(伊佐見協働センター)

・自分を、人を好きになって欲しい。そのために子供たちに愛情をいっぱい注ぐことが、地域や先生、大人の役目。また、子供たちが体を動かすことが少なくなったということだが、「湖東文化スポーツクラブ」は安い費用で参加できるので、参加してみてもどうか。(高橋委員)

(3) ボランティア活動について

村上コーディネーターから1学期に行われたボランティア活動について報告があった。

・読み聞かせはボランティアの人数が増えた。

・クラブ活動は、もう少し保護者の参加者を増やしたい。教えるというより見守るつもりで気軽に参加して欲しい。

(4) バス(遠鉄バス・伊佐見線)の利用促進について

米山教頭より別紙資料に基づきバスの利用促進についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・バスが廃線になったときどうするかというアンケートを保護者にとったことはあるか。存続が一番良いが、無くなったときのことも考えていかなければ。また、乗車人数を増やせば、というのが具体的に何人なのか。(塚本委員)

・会合でバスのダイヤを登下校の時間に合うよう改正して欲しいと提案する予定。参観会の時にバス利用の声掛けもした。(嶋野委員)

米山教頭から、次回会議は、2023年12月12日(火)午前9時から会議室で開催する旨の報告があった。